

防ごう被害、守ろう安全！ 身近な危険から身を守る

平成29年の県内の犯罪認知件数は、6万3383件で前年と比較して6073件減少しました。しかし、市内（深谷・寄居署管内の合計件数）では前年と比べて増加しており、自転車盗が227件と最も多く、車上狙いや自動販売機狙いなども発生しています。また、最近では窃盗だけでなく、子どもや高齢者を狙った犯罪も目立ち、特に深刻化しているのが、高齢者を狙った特殊詐欺（振り込み詐欺・還付金詐欺・架空請求など）です。

迫る身近な犯罪！

「私たちの心がけて防ぐ被害」

高齢者を狙った特殊詐欺

「会社のお金を使いこんでしまった。」など子どもや孫になりすまし、現金を要求する『オレオレ詐欺』をはじめとした特殊詐欺の被害が後を絶ちません。警察に届け出のあった平成29年の市内の被害件数は16件、被害金額では、1818万円でした。

特殊詐欺の手法は、年々巧妙化しており、電話から始まる手口だけでなく、あえて古典的な手法で

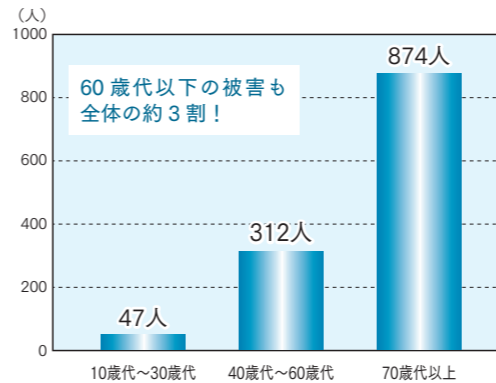
ハガキを使用し、訴訟告知などの通知を装う『ハガキ詐欺』も最近が増えていきます。

若い世代も油断大敵！

特殊詐欺の被害年齢層は、70歳代以上の高齢者が最も多いですが、被害に遭いにくいと思われるそれより下の年代も、決して被害件数は少なくありません。年代により詐欺被害の手口が異なります。

被害から身を守るためには、さ

平成29年特殊詐欺の県内被害者数(年齢別)



さまざまな手口を知り、家族での声掛けや情報共有が大切です。また、不審な電話などを受けた場合は、警察に相談しましょう。

子どもを犯罪から守る

近年、各地で子どもが犯罪に巻き込まれる事件が起き、市内でも子どもへの不審行為情報が寄せられています。

子どもを犯罪から守るために、警察では、入学時期にあわせて各小学校で防犯教室を開催し、子どもたちに対して犯罪に巻き込まれない対策を指導しています。

また、各地域では、地域の安全を守るために防犯活動を行う自主防犯組織137団体が活動しており、子どもの登下校の付き添いや危険箇所での交通指導などの見守り活動をはじめ、防犯パトロールを実施し、地域内での犯罪の抑制へとつなげています。

犯罪に巻き込まれないためには、地域が連携して防犯意識を高め、犯罪が起きにくい環境を作ることが大切です。

市では、警察との協力や子どもたちと地域の安全を守るために活動する自主防犯組織に対する支援を通じて、安全安心なまちづくりに取り組んでいます。

寄居警察署 安原生活安全課長に防犯対策について伺いました

※深谷・岡部地区は深谷警察署、川本・花園地区は寄居警察署が管轄となっており、市は両警察署と連携して防犯対策を行っています。

犯罪防止には、『家族の絆』と『地域の連携』が不可欠です。日常的に行う家族同士の話し合いや地域住民間でのコミュニケーションが、いざ犯罪に巻き込まれそうになった時の被害防止に役立ちます。

子どもたちの安全確保では、日ごろから『あいさつ』を通じて地域でつながりをつくり、不審者を寄せ付けない地域づくりが有効です。

また、深刻化している特殊詐欺被害は、『自分は大丈夫』という過信から、いざとなると冷静な判断ができず、だまされるケースがあります。『おかしいな?』と思ったら、まずは家族に確認したり、電話の防犯機能（非通知拒否や番号表示など）を活用し、『ウソの電話』に出ない対策をしましょう。

犯罪は地域内で連続発生するケースもあります。被害防止のために、警察・家庭・地域で連携し、積極的に情報の共有と声掛けを行い防犯力を高めることが重要です。

防犯のキーワードは、『家族の絆』と『地域の連携』です。



寄居警察署 安原 健二 生活安全課長

今すぐ登録！

市メール配信サービス

登録をしておくで携帯電話に市からお知らせ（災害情報・防災行政無線情報）が配信されるサービスです。ぜひ、ご登録ください。



メール配信伝達のイメージ

7月●日 10:00
件名：深谷市◆防災行政無線【不審者目撃情報】
こちらはぼうさいふかやです。警察署から不審者情報についてお知らせします。本日、▲▲地内で××な事案が発生しました。特徴は◆◆です。不審者を発見した場合は、警察へご連絡ください。



③市民に情報が届く(防災行政無線・メール配信など)



②市が依頼に基づき、防災行政無線放送・メール配信などを実施



①警察から市へ市民への周知依頼

防犯情報が届くまで

市では、防犯情報（不審者・詐欺防止啓発など）を防災行政無線を通じて次のような流れで情報を発信しています。随時提供される情報をよく確認し、犯罪被害に遭わないよう注意しましょう。



災害時などの情報入手方法



<p>防災行政無線</p> <p>屋外スピーカーを通じて緊急情報などをお知らせします。</p>	<p>市メール配信サービス</p> <p>あらかじめ登録をした携帯電話へ、市からのお知らせや災害・防災情報、防災行政無線の放送内容などを配信します。</p> <p>登録はこちらから</p>	<p>市ホームページ</p> <p>災害情報などを随時更新します。</p> <p>http://www.city.fukaya.saitama.jp/</p>
<p>テレホンサービス</p> <p>防災行政無線の放送内容を電話で確認することができます。</p> <p>☎048-551-9000</p> <p>※通話料のみで情報は必要ありません。</p>	<p>ツイッター</p> <p>災害等緊急時には災害情報などを発信します。</p> <p>深谷市公式アカウント Fukaya_City 携帯電話向け公式サイト http://twitter.com/Fukaya_City</p>	<p>広報車</p> <p>緊急時は、広報車で市内を巡回放送します。</p> <p>深谷市 広報車</p>
<p>テレビ埼玉 地デジ3チャンネル</p> <p>テレビ埼玉(3チャンネル)のデータ放送を活用し、防災行政無線で放送した内容などを発信しています。</p> <p>①テレ玉(3チャンネル)を視聴する。 ②リモコンの【d】ボタンを押す。 ③テレ玉のデータ放送画面が開く。 ④画面左下の一覧から『深谷市からのお知らせ』を選び、リモコンの【決定】ボタンを押す。</p>	<p>緊急速報メール</p> <p>避難勧告の発令など緊急度の非常に高い情報を、市内に存在する携帯電話(ドコモ、au、ソフトバンクの対応機種のみ)に一斉送信します。</p>	<p>NHK総合テレビ 地デジ1チャンネル</p> <p>NHK総合テレビ(1チャンネル)のデータ放送を活用し、気象情報等の防災情報が確認できます。リモコンの【d】ボタンを押すと、次の情報を確認することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象情報 河川水位 雨量情報 防災、災害情報 など

災害から身を守るためには、正確な気象情報や避難情報を確認し、状況に応じて適切な行動をとる必要があります。誤った情報に惑わされないように、市が発信する情報をはじめ、複数の情報入手手段を活用しましょう。

2

情報収集



3



早めの避難行動

避難

近年の豪雨被害の状況から、避難情報の名称が変更されました。市が発信する避難情報を正確に把握し、早めに避難することが大切です。

避難情報の種類と取るべき行動

<p>避難指示(緊急)</p> <p>避難していないかたは緊急に避難してください。外出することによって命の危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難してください。</p>	<p>避難勧告</p> <p>速やかに避難所へ避難してください。外出することによって命の危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難してください。</p>	<p>避難準備・高齢者等避難開始</p> <p>子どもや高齢者など避難に時間を要する家庭は避難を始めてください。また、身の危険を感じる場合も避難を始めてください。その他のかたは避難準備を進めてください。</p>
---	--	--



▲平成29年10月、台風により市内の道路が冠水している様子

台風・集中豪雨に備える

大雨の発生しやすい季節

梅雨から秋までの時期は、台風や集中豪雨といった大雨の発生しやすい季節です。近年では、突発的で予測が困難な局地的豪雨なども多く発生しています。大雨による被害は、全国的にも増加しており、平成27年9月に発生した関東東北豪雨では、茨城県において鬼怒川が決壊し甚大な被害をもたらしました。大雨が発生した際に素早く判断し、被害を最小限にするにはどう行動すればいいのか、事前に対策を確認して台風・集中豪雨に備えましょう。

1

事前確認

日頃から対策準備

『もしも、大雨が発生したら』を想定して、いざという時の対策をする必要があります。まずは、ハザードマップを利用し、家庭や地域内で避難場所や危険箇所はどこか確認しましょう。また、非常持出品を準備しておきましょう。

深谷市 洪水・内水ハザードマップ

～方々の水害に備えて～

洪水・内水ハザードマップとは、大雨による洪水や内水ハザードの発生リスクを把握し、避難場所や危険箇所を事前に把握するためのツールです。市では、洪水・内水ハザードマップを作成し、配布しています。各地域の避難場所、危険箇所や浸水の深さ、非常持出品など避難行動に役立つ情報を掲載しています。総務防災課で配布してるほか、市ホームページからもダウンロードできます。